

## JENESYS2015 招へいプログラム

(対象国：ブルネイ, テーマ：(スポーツ) バドミントン交流, 大学生) の記録

### 1. プログラム概要

「対日理解促進交流プログラム」の一環として、ブルネイよりスポーツに関心を有する大学生 17 名が来日し、日本の政治、社会、歴史及び外交政策に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、3月15日から3月22日までの7泊8日の日程でプログラムを実施しました。

### 2. 参加国・人数

ブルネイ 17 名

### 3. 訪問地

東京都、宮城県

### 4. 日程

- 3月15日(火) 成田国際空港より入国、来日時オリエンテーション
- 3月16日(水) 【テーマ関連講義】  
【スポーツ関連施設見学】味の素ナショナルトレーニングセンター
- 3月17日(木) 宮城県へ移動  
【学校交流／バドミントン交流】聖ウルスラ学院英智高等学校
- 3月18日(金) 【地域概要講義】仙台市国際プロモーション課、スポーツ振興課  
【文化体験】こけし絵付け体験  
【歴史的建造物視察】松島湾散策  
【ホームステイ対面式】
- 3月19日(土) 【ホームステイ】
- 3月20日(日) 【ホームステイ歓送会】  
【ワークショップ(報告会準備)】
- 3月21日(月) 地方プログラム終了後、東京へ移動  
【報告会】
- 3月22日(火) 成田国際空港より出国

5. JENESYS2015 招へいプログラム記録写真  
 ブルネイ スポーツ (バドミントン交流) 訪日団の記録

	
<p>3/16 テーマ関連講義 (東京都)</p>	<p>3/17 学校交流: 聖ウルスラ学院英智高校 (仙台市)</p>
	
<p>3/18 地域概要紹介: 仙台市 (仙台市)</p>	<p>3/18 こけし絵付け体験 (松島町)</p>
	
<p>3/20 ホームステイ歓送会 (加美町)</p>	<p>3/21 報告会 (東京都)</p>

## 6. 参加者の感想

### ◆ ブルネイ学生

日本のトイレはとても高度で、ブルネイのものとは非常に異なります。帰国したらどんなに進んでいるかについて話したいと思います。そして日本人はフレンドリーで穏やかに話すのに感心しました。また日本は安全な国であるとの印象を強く持ちました。日本には大きな店がたくさんあり、さまざまな国からの観光客が来ています。新幹線が東京と仙台を結んでいるように、公共交通が発達していて、色々な所に出かけるのが簡単です。文化もブルネイの文化とは異なります。家族で食卓を囲み、ご飯と副菜、主に野菜を食べ、あまり油っこいものを食べないのだと思いました。帰国したらこれらのことを伝えていきたいと思います。

### ◆ ブルネイ学生

日本に到着した最初の日から、私が受けたサービスに感動しました。私が出たすべての日本人が、とても良くしてくれました。日本人同士のコミュニケーションもとても丁寧です。強く印象に残ったのは、ブルネイとは大いに異なる日本の科学技術と日本の経済政策です。日本での生活がとても快適で、安全なことがわかります。ホームステイでは、ホストファミリーが豊かな愛情をもって私たちのお世話してくれました。ホストファミリーの方が私たちにしてくれたことすべてに感謝しています。

### ◆ ブルネイ学生

私が一番感動したのは、人々がとても我慢強く、親切だということです。ホストファミリーは私たちが買物している間、ずっと待っていてくれました。また私たちが迷った時に親切に道を教えてもらったこともありました。日本の進んだ技術には感心しました。(ホームステイをした)小さな町の、小さな家でさえ自動トイレがあるし、スバルのような車を持っています。また畑地が肥沃であり、かつて起きた自然災害からも素早く回復しているのに感心しました。そして野菜を毎日食べ、歩いたり、自転車に乗ったり、公共交通を使うなど健康的な生活を送っています。津波や地震などの災害から日本が素早く立ち直っていることをブルネイの人達に伝えたいと思います。そして先進的な技術や日本の施設、天候、日本人のマナーや生活スタイルについても話をしたいと思います。

## 7. 参加者の報告会での報告内容（帰国後の発信内容）

	
<p>日本での気付き①</p>	<p>日本での気付き②</p>
<p>◎Project Title プロジェクトタイトル「BRUNEI-JAPAN JENESYS EXHIBITION」</p> <p><b>WHY: (Reasons to do it) 考えた理由</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ To develop a more sophisticated plan for the programme through social media i.e. <u>instagram</u>, <u>facebook</u>, <u>twitter</u> etc.</li> <li>✓ To enhance a better understanding and foster mutual respect between ASEAN nations states through cultural exchange, sports, education and economic benefits.</li> </ul> <p><b>WHEN: (When will it be done?) いつやるか</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ The action plan may take ample of time considering the steps that needs to be taken. The projected plan to get this programme done will probably in 1-2 years time depending on the procedures and legislation made by the government.</li> </ul> <p><b>WHO: (Who will do it?) 誰がやるか</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ Government agency</li> <li>✓ Private institutions</li> <li>✓ Think-tanks</li> <li>✓ Regional organization like APEC, ASEAN etc.</li> <li>✓ Schools</li> </ul>	<p>✓ Schools</p> <p><b>WHO: (To whom?) 誰に対してやるか</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ Participants involved</li> <li>✓ ASEAN member states</li> <li>✓ Regional partners i.e. US, Russia, India, China etc.</li> </ul> <p><b>WHAT: (Details of the action) 何をやるか</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ By establishing an association related to cultural entity, sports, education, social sciences etc.</li> <li>✓ By establishing a boot camp by which every participants can involve in the community work.</li> </ul> <p><b>HOW: (How to do) どうやってやるのか</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>✓ Organize mutual economic terms by which every parties/nations can conduct business related sectors</li> <li>✓ Sending in more of our locals to undergo trainings in Japan.</li> <li>✓ Set up a website blog that promotes cultural benefits in a more digitalized approach.</li> </ul>
<p>アクションプラン①</p>	<p>アクションプラン②</p>